

SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	福原 幸太	学校名	習志野市立実花小学校
実施学年	1 学年	教 科	算数科
単元名	小学校1年算数「かたちづくり」		

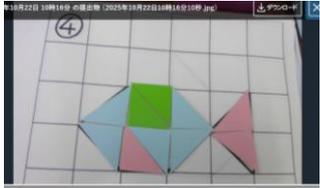
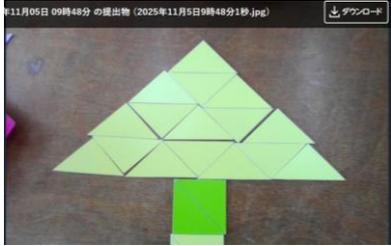
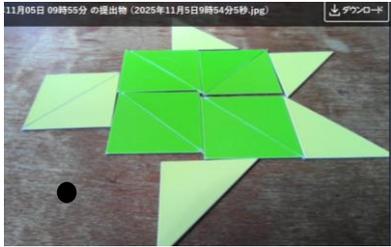
《学びを深めたいポイント》

- ・本単元では、諸感覚を使って、図形の特徴を見つけ、楽しみながら活動することがねらいである。三角形を使ってできる形を表現する活動を通して、互いに作った図形を共有させる。前時では教師の提示した形を提示し、三角の色板でどのように作るかを考えた。本時では、三角の色板を使って自分なりの形を作成し、互いに鑑賞することで、それぞれの作った形がどのようにできているか、また、できた形の良さについて話し合う。
- ・作った形を紹介し合う活動を通して、友達との関わりが生まれ、いろいろな形を作ることの楽しさを実感できるようにする。本時で鑑賞を行い、友達の作品のよいところや真似してみたいところを見つける活動を行う。
- ・作った作品は SKYMENU を用いて、鑑賞する。自席で友達の作品をすべて見ることができ、作品を壊したりする危険性を減らせる。
- ・SKYMENU を使用することで、全員の作品を一気に俯瞰してみることが可能になる。そのため、他者の作品を比較し、よさに気づきやすくなると考える。
- ・次時への見通しとして SKY MENU の気付きメモ機能を活用する。学級全体で同じグループに入ることで、他者の意見を見ることができ、考えをもちにくい児童にとって考える糸口になる。

《SKYMENU 活用のポイント》

- ・作った作品を SKYMENU 内のカメラ機能で撮影し、提出箱に提出する。学習者同士で閲覧できるようにすることで、自席で鑑賞できるようにする。
- ・自席でタブレットを用いて鑑賞することで、児童の交友関係に関わらず自身が気になる作品を集中して見ることができる。
- ・全体での共有の際には、作品を大型提示装置で拡大して表示するだけでなく、教師の画面を児童のタブレットに表示させる「画面表示機能」を用いる。画面のみでは伝わりにくい部分も、個々のタブレットに表示することで他者の発表の意図を伝えやすくする。
- ・気付きメモで友達の作った作品の良いところを記入し、作った形の良さに気付かせる。また、他者の意見を同時に見ることで、思いをもちにくい児童も、友達の意見をヒントに自分が気付いたことを入力できる。

《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導 入	<p>○前時での学習を振り返る。</p> <p>○三角の色板を使って他にはどのような形が作れるのか考える。</p> 	<p>○スカイメニューでこれまでに児童が作った形を提示し、前時までの学習を振り返る。</p>	<p>○教員が指定したところを画面共有し、見てほしいところに着目させる。</p>
展 開	<p>○三角の色板を組み合わせて、オリジナルの図形を作ってみる。</p> <p>○1つの形だけでなく、他にもどんな形ができるか考え、いろいろな形を作成する。</p>  	<p>○作ったものは写真を撮り、スカイメニューの提出箱にあげる。</p>	<p>○作った形はその都度、写真に撮ってスカイメニューにあげることで、自分が作った図形を後で見返せるようにする。</p>
ま と め	<p>○作品を紹介し合い、友達の作った図形の良さについて話し合う。</p> <p>○鑑賞して思ったことを「気づきメモ」に入力していく。</p> 	<p>○SKYMENU 提出箱「学習者同士の閲覧機能」を用いて、鑑賞を行う。</p> <p>○他者の考えを見ることができるよう、グループメモ機能を用いる。</p>	<p>○自席でタブレットを用いて鑑賞することで、作品が壊れるリスクがなくなる。</p> <p>○児童の画面にも共有することで、どの席にいても見えるようにする。</p> <p>○タイピングは難しい学年なので、手書き機能を用いて入力することを伝える。</p>

《実践を振り返って》

授業の導入でスカイメニューを使って前時までに作成した作品を提示した。子ども達が前時までに作った形を共有することで、児童も意欲を高めながら前時までの学習を振り返ることができた。

展開では、三角の色板を使っていろいろな形作りに取り組んだ。作った写真を撮って、スカイメニューにあげることで、「他にはどんな形を作ろうかな。」と児童も意欲的に形作りを行っていった。

まとめでは、鑑賞を行った。自身の作品を全体で共有する際、SKY MENU の画面提示機能を活用した。画面提示機能を用いることで各々が自席で他者の作品を見ることができた。次に「気づきメモ」機能を活用して友達の作った形の良いところを記入した。気づきメモのグループ機能を用いたことで、他者の意見も同時に見ることができ、意欲を向上させられたと思う。気づきメモは手書き機能がついているため、第1学年でも使用が容易であった。

今回は第1学年ということで、撮った写真をあげたり、手書き機能を用いて入力を行ったが、作った作品をレイアウトに合わせて編集したり、文字を早くタイピングしたりする等のタブレット操作のスキルについてはまだまだ課題が見られるので、今後もいろいろな場面で活用を図り、技能の活用が向上を図りたい。